

平成31年3月31日

総務大臣 殿

大津市山上町5-37

株式会社FMおおつ

代表取締役社長 古田 誠



放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第8条第3号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

番組審議会議事録(第13回、平成31年3月20日開催)

## 《別紙》

- 1 開催年月日:平成31年3月20日午前10時から
  - 2 開催場所:FMおおつ
  - 3 委員出席  
委員総数 5名  
出席委員数 5名  
出席委員の氏名 池谷博行、西村芳夫、森島洋一、井上裕子、新山友希子  
欠席委員の氏名 なし  
放送事業者側出席者名 古田 誠
  - 4 議 題  
一、番組編成  
一、番組検討「暮らしの相談 廃線の50周年江若鉄道」=平成31年3月9日(土曜日)  
午前10時15分~午前10時45分  
一、その他
  - 5 議事の概要  
番組検討と難聴エリア対策のためのIPサイマル放送の試験放送について説明
  - 6 審議内容  
■番組編成について  
・サイマル放送の説明、現在、FMプラプラからテスト放送中。4月1日からIPサイマル放送を行う予定。難聴エリアへの補完のための試験放送  
・4月から番組編成で、120分の4つのワイド番組を90分に短縮して放送する。  
■番組検討  
平成31年3月9日(土曜)午前10時15分~10時45分放送の「暮らしの相談 廃線50周年江若鉄道」
- <悪かった点>
- ・ 耳を澄ましてじっくり聴くと途中で救急車のサイレンの音が入りこんでいた。  
FMおおつ側から→オープンスタジオの特性だが、今後出来るだけ入らない工夫をしていく。
  - ・ 番組中ゲストが資本金の換算で間違った発言をしていると思われる。
  - ・ 「暮らしの相談」というタイトルなのに相談らしくなく思えた。
- <良かった点>
- ・ 幼い日々の記憶が蘇ってきて、当時の映像が脳裏に浮かんだ。懐かしい記憶が蘇り良い番組だった。
  - ・ 聞き手と語り手の方のやり取りがとてもスムーズで聞きやすく、作業をしながら聞いたが、すんなり耳に入ってきて心地よく聞くことができた。
  - ・ ラジオは音だけであるが、私自身、江若鉄道の幼い時の思い出がちょっとだけあるにしても、知らない人にも映像が思い浮かぶような番組で、なかなか良かったと思う。昔を懐かしむこのような番組はこれからも放送してほしい。
- 7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日  
特になし

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

①自社放送(3月29日午後8時55分「FMおおつからのお知らせ」)

②事務所への備置き

③自社ホームページ(URL <http://fmotsu.com>)への掲載

公表の内容

審議内容の要約

9 その他参考事項

特になし